

株式会社 河井工業

DX宣言書

2025年10月24日
株式会社 河井工業
代表取締役 河井 茂

□ 経営理念

私たちは、物づくりを通して地球環境の保護に努め、社会に貢献し、そして、地域社会から評価される企業を目指します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して業務の標準化、自動化を推進し、柔軟で効率的な製造体制を構築します
- ◆ 生産・販売・顧客データを活用した意思決定を通じて、顧客ニーズに迅速に対応できる組織を確立し、成長し続ける企業を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年8月)

戦略 「現状の可視化と課題の明確化」

- 施策
- ・ 将来的な製造工程の自動化に向けて、業務の内容と流れを整理・分析し、属人的・非効率な部分を可視化
 - ・ 上記調査結果を基に、作業内容や負荷を分析し、改善対象となる工程を抽出
 - ・ スムーズな情報連携を可能にするため、現在の業務プロセスを確認し、より効率的にできる部分等、改善余地を整理
 - ・ DX推進の理解を深めるため、デジタル活用事例を学ぶ研修会を開催

➤ フェーズ2(2026年9月 ～ 2028年8月)

戦略 「業務の標準化と効率化」

- 施策
- ・ 属人化を解消するため、熟練社員のノウハウを動画やマニュアルに落とし込み、業務標準化を推進
 - ・ 品質管理を強化するため、不良記録や検査結果を電子化し、不良の発生傾向や原因をデータで分析できる仕組みを整備
 - ・ 夕礼の情報(進捗状況、翌日作業等)の電子化による業務効率および情報共有精度の向上

➤ フェーズ3(2028年9月 ～ 2029年8月)

戦略 「データに基づく業務改善と戦略的意思決定の実現」

- 施策
- ・ 継続的な業務改善を実現するため、生産・品質データを活用した改善サイクル(PDCA)を確立し、全社で定着化
 - ・ 経営・現場双方の意思決定を支援するため、生産・販売・顧客データを分析し、計画・戦略の策定に活用
 - ・ 製造工程の自動化に向けて、ロボット等の自動化装置に関する情報収集を行い、自社工程における適用可能性や期待される効果を整理

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 製造工程のマニュアル・動画作成率 : 50%(～2029年8月)